

神経芽腫に対するイソトレチノイン治療の臨床試験を始めました

この治療のご紹介



神経芽腫の患者さんは個人個人で病態が異なりますが、診断当初から全身に病気が広がっている「高リスク神経芽腫」では、治療が終わった後も再発の危険性が極めて高いとされています。欧米では入院での強力な治療が終了した後に、再発のリスクを減らす効果が期待できる「イソトレチノイン」の内服治療を実施するのが標準治療の一環となっています。しかし日本では未承認薬であるため、小児患者さんは希望があっても治療できません。そこで日本人の神経芽腫患者さんがこの治療を安全に行うことができ、再発率を減少させることができるかどうか調べるために臨床試験を開始しました。臨床試験が終了し、有効な治療であることがわかれば、神経芽腫の再発を防ぐ新たな治療選択肢となる可能性があります。

ご参加いただける方

- 1歳以上 18歳未満の方
- 病理組織学的に神経芽腫と診断された方
- 一次療法を終了し、病状が安定している方
- 直近の造血幹細胞移植日から84日以内の方
- 治療の妨げとなる病気がない方
- 感染症に現在かかっていない方

※この他にもご参加いただくための基準がございます。



参加のメリット

本治療により、神経芽腫の再発の危険性を減らす可能性があります。
治療薬は無償で提供されます。



参加のデメリット

この治療によって、皮膚の発疹・口唇炎・肝機能障害（AST/ALT 異常）・高脂血症・高カルシウム血症・発疹・貧血・血小板減少・嘔吐などが起こることが報告されています。副作用はおおむね軽症で、時間とともに軽快していく傾向があります。

臨床試験の流れ

- ① まずは、**下記のお問合せ窓口**まで**お電話**ください。
- ② お電話での確認後、**東京都立小児総合医療センター**に来院いただき、臨床試験の説明を受けていただきます。
- ③ 臨床試験の内容に同意いただきましたら、参加基準の確認に必要な検査・症状の評価を行います。
- ④ 参加基準を満たしていれば、試験治療の準備を進めさせていただきます。

募集期間

2023年3月31日まで



臨床試験に関するご相談、お問合せ窓口

東京都立小児総合医療センター
血液・腫瘍科又は臨床研究支援センター
TEL : 042-300-5111